

令和 6 年度 (2024-2025) 6 月商工会理事委員会 議事録

日 時: 2025 年 6 月 18 日 (水) 12:00-13:45
会 場: 三水会センター会議室
出 席 者: 15 名 (うち名誉会員 1 名、理事委員 10 名、代理 1 名、オブザーバー 1 名、
事務局長 1 名、代理 1 名)
欠 席 者: 7 名 (うち副会長委任 5 名、代理委任 2 名)
※会長が欠席のため、議決については副会長に委任
司 会: 東 遼佑 幹事

1. 商工会会長連絡 (藤野 潤 正会員; 濱田 哲 会長代理)

* 日本製鉄関連

本日、日本製鉄による US Steel の完全子会社化が完了したとの大変喜ばしいニュースが入ってきた。政府による黄金株保有はあるものの、日本製鉄として本件実現に向け長期に亘り、続けてきた交渉が結実したものであり、本パートナーシップについては他日本企業も引き続きその行方を注目していくものになると思う。

* OBBB 法案 (One Big Beautiful Bill Act) について

米国下院で可決された「One Big Beautiful Bill (OBBB) 法案」の Section 899 に注目。外国企業の米国法人からの配当や利子等の本国送金に対し課税する内容であるが、日本企業含む外国企業に戦略面含め、様々な影響が出る事が予見される。現在、上院にて法案策定が審議中で、その内容も日々変化しているようだが、状況を注視していきたい。また、OBBB にて再生可能エネルギーに関して優遇税制措置が段階的に縮小する内容になっており、再エネ分野に進出している企業にとっては、内容の精査、対応が急務となる面も出てくるであろう。

* テキサス州議会

また、5 月末にはエネルギー省 (DOE) が再エネ関連の助成金総額約 37 億ドルを撤廃するとの発表もあった。このうち、約 10 億ドル分がテキサス州の案件となるが、日本企業への影響も懸念される。その背景には、トランプ前大統領の石油・ガス開発を重視するエネルギー政策の影響ということだろう。一方、今年開催されたテキサス州議会では、共和党主導で再エネ規制強化を意図した「アンチ・リニューアブル法案」が提出される動きがあったが、停電などの地域事情もあり、最終的には時間切れで廃案、現実解に落ち着いた形。テキサス州は「赤い州 (保守州)」ではあるが、実際には再エネ推進州でもあるため、政策には複雑なバランスが働いている。他にもビットコイン準備金制度の導入などユニークな政策動向も見られ、継続的なモニタリングが必要。

* イスラエル・イラン問題

今般の中東情勢は、歴史をどこで区切るかだが、第一期トランプ政権が実行したイラン核合意破棄等も背景にあり、そこにイランを後押しする中国やロシアの関係も絡み、緊張が高まっている。何れにしてもこの一連の流れは、地政学的な分断をさらに加速させる可能性があり、引き続き注視が必要。

* 石川副会長 JASH Chairman ご就任

商工会石川副会長が、JASH (日米協会) の新 Chairman に正式就任されたことを心より祝意申し上げる。

2. 総領事館連絡 (望月新介 領事)

① 在外選挙

本年夏、第 27 回参議院議員通常選挙が実施され、当館においても在外公館投票を実施する予定である。郵便等投票も可能で、万が一郵便投票される場合は郵便事情をご確認の上、ご活用願いたい。当該選挙日程についてはま

だ未定であるが、日程が確定次第、詳細等について領事メールなど改めてご案内する。

②移民税関捜査局(ICE)

先週の7月14日にICEによる移民取締りに対する抗議活動に加えて、「No Kings」という抗議イベントが全米で約2100か所以上において実施され、約500万人が参加した。ヒューストンでは約15000人以上が参加したようであるが、おおむね平和的に終了したようである。これらの抗議活動は今後も継続されると報道などでなされているが、外務本省からのスポット情報や当館を含めた在外公館からも領事メール等を通じて、引き続き、注意喚起をさせて頂くのでご参考にして頂きたい。また皆様におかれましては、今後も引き続き報道機関等を通じ常に最新情報の入手に努めると共に、抗議活動が行われている場所には細心の注意を払う事と、また、不用意に近づかないなどご注意願いたい。特に夏季休暇など、ご旅行なども増えると思うが、お出かけの際には、旅先の治安状況など確認し、十分に気を付けて頂きたい。

③米国法令の遵守について

5月29日米国国務省から米国に所在するすべての外国公館(大使館・総領事館)に対して、米国内における法令の遵守についての注意喚起があった。アメリカへの不法入国、不法滞在、その他の法令違反、飲酒運転などは、逮捕、罰金、懲役、さらには滞在資格の取り消し、国外退去処分にもなり得るほか、その後の米国への再入国が禁止となる可能性もあるため、十分に気を付けて頂きたい。本件について何かご質問やご相談等あれば在ヒューストン日本国領事館、また旅行中であれば、最寄りの大使館や総領事館へお問い合わせをお願い申し上げます。

④元阪神タイガース・ランディ・バース氏の叙勲式典

7月開催の元阪神タイガースのランディ・バース氏の叙勲伝達式について昨日6月17日、商工会からメールでご案内をさせて頂いた。おかげさまで多くの方にご参加頂けることとなった。改めて御礼申し上げます。

3. 他団体対応・日本庭園関連報告 (坂本 滋 特命理事)

*JASH 関連報告

石川副会長のJASH Chairman 就任に伴い、組織構成が一部変更された。今現在 Laird Doran 氏が President であるが、これまで実務執行を担っていた Patsy Yoon Brown 氏が President の名称を使用し、石川氏は意思決定機関である理事会の会長として Chairman を務める。今後の主要行事として、11月11日の「JASH BASH」、12月4日の「Glen Gondo Memorial Golf Classic」等が予定されている。財政状況の改善に向け、理事の拡充や外部からの資金協力も検討されている。

4. 安全・危機管理関連報告 (竹原 優 特命理事)

*ハリケーン・シーズンの注意喚起について (資料①)

毎年6月1日から11月30日までがハリケーン・シーズンとされており、既にシーズン中である。トロピカル・ストームは一般的に台風であり、ハリケーンのカテゴリー1は強い台風、カテゴリー2は非常に強い台風、カテゴリー3以降は猛烈な台風と分類される。今季は13~19のトロピカルストーム(過去平均は14回)が予想され、そのうち6~10がハリケーンになる可能性がある。トロピカル・ストームも含め毎年発生順にアルファベット順で名づけられる。ハリケーンの被害としては、昨年7月のハリケーン Beryl により、カテゴリー1ながら200万件を超える大規模停電が発生した。また、ハリケーンへの事前準備としては、停電・断水に備えた飲料水等の備蓄や防災用品の準備、安否確認方法の確認などが必要である。詳細情報については、過去のガルフストリーム誌5月・6月号にも掲載されており、他総領事館や商工会のホームページでも入手可能であるため、ご参照願いたい。

5. 委員会報告

①ジャパンフェスティバル委員会 (浅野健一 委員長)

*ジャパンフェスティバル 2025 について

2025年のジャパンフェスティバルは9月6日(土)・7日(日)開催予定。開催まで残り80日を切っており、幹事団およ

び副幹事企業(クラレ様・カネカ様)と連携し、準備を開始。7月20日以降、各企業にボランティア派遣のお願い・ご案内を予定。

②広報委員長 (伊藤義治 委員長)

*ガルフストリーム関連報告 (資料②)

広報誌ガルフストリームのビジネス記事について、2025年9月号までの予実績を踏まえてご担当企業とスケジュールを更新したので、2025年10月号(9月15日原稿締切予定)以降のビジネス記事は、スケジュールに沿って記事の寄稿にご協力いただきたい。また、今後の編集方針によってはご寄稿いただくスケジュールが変更になる可能性もあるため、その際には理事委員会でご相談し皆様のご意見を伺いたい。

③企画・調査委員会 (島田英樹 委員長)

*8月の定例講演会関連案内

今回の定例講演会は8月27日、常任委員会の後に開催されるが、今現在講師の選定中である。三菱商事様と連携しながらアメリカのエネルギー業界、または関税関連のテーマで調整中。7月上旬～中旬に改めてご案内させて頂く。

④ソフトボール委員会 (生田哲史 委員長)

*ソフトボール大会 2025 収支報告 (資料③)

今年のソフトボール大会へのご参加並びにご支援くださり、改めて感謝申し上げます。全体収支は前年並み。当日は雨天で予定の4面中1面しか使用できなかったため、使用料が半額となり、余剰金を活用して優勝トロフィーの改修を実施。次年度大会開催日の決定、及び、会場の仮押さえをした後、次年度の幹事企業である東京ガス様への引継ぎをして今年度の大会対応が完了となる。

⑤ゴルフ委員会 (貞光勝郎 正会員;吉森康陽 委員長代理)

*6月人事異動について

清澤優介氏が就任予定であったが、6月1日付の人事異動により、吉森康陽氏が新たに着任予定である。(現在ビザの取得中、7月中旬着任見込み)。着任したらご挨拶をさせて頂くので宜しくお願い申し上げます。

*第580回テキサス会ゴルフ「総領事杯」開催結果報告 (資料④)

5月18日にWind Rose Golf Clubにて開催。66名が参加し、初出場の池田圭輔氏(Iwatani Corporation of America)が優勝。KDDI America様が開発したスコア集計アプリが導入されたが、運用が周知されず、結果発表に時間を要したため、次回の活用改善が課題。次回第581回大会は9月21日(日)に開催予定で、候補会場はCinco Ranch Golf Club。ENEOSが幹事を務め、KDDI America様と丸紅様が引き続きサポート予定。案内は8月1日に配信予定。

⑥生活・情報委員会 (根本真樹子 委員長)

*三水会クラブ「Back to School セミナー」の開催案内 (資料⑤)

生活情報委員会の活動の一つとなっている三水会クラブからBack to Schoolのセミナーは3年目となる。ヒューストンにいられたばかりの商工会の会員様のご家族を対象に、現地校の新学期が始まる前に入学前の準備として情報交換セミナーを、7月24日午前10時から開催予定である。これまでインストラクターをお招きしての開催であったが、今回は先輩ママ達が自身の体験をもとに、よりカジュアルで気軽に交流できる設定で開催。定員は15組となっているが、まだ余裕があるのでご興味のある方は是非ご参加頂きたい。

6. 事務局連絡 (富田妙子 事務局長)

①三水会センター夏季休館期間 (資料⑥)

独立記念日ホリデーに伴い、三水会センター図書館、商工会共に7月1日(火)～7月7日(月)は休館期間となり、商工会は7月7日(月)から、図書館は7月8日(火)から開館する。

②会員消息 (HP「[会員専用ページ](#)」参照)

6月16日現在の会員数は、名誉会員11名、正個人会員936名(正団体会員119社)、準会員57名で、総会員数は1004名となっている。また、正団体会員のKanadevia様が移転に伴い、6月末をもって退会される。詳細については商工会HPをご参照いただきたい。

7. その他（藤野 潤 正会員；濱田 哲 会長代理）

* 日本中国地方経済団体連合会の海外視察訪問について

まだ正式なご案内ではないが、予備的な情報としてお伝えする。日本中国地方の経済団体連合会では、幹部による毎年恒例の海外視察訪問を実施しており、本年は9月8日の週に米国を訪問される予定である。視察先はロサンゼルス、オースティン、ヒューストンの3都市が計画されている。具体的には、9月10日(水)にオースティン、11日(木)および12日(金)にヒューストンをご訪問予定である。ヒューストンでは、ダイキン様に工場見学をお願いしており、その他にも宇宙センターなど、ヒューストンならではの注目産業をご覧いただく計画である。今回の訪問団には、中国経済連合会の芦谷会長(中国電力 会長)をはじめ、広島銀行の池田会長、マツダの菖蒲田会長など、総勢23名の幹部が参加される予定である。商工会会長企業を務めている関係で、ヒューストン滞在中の9月11日(木)に、現地経済界との何らかの交流の機会を持ってないかというご相談を頂いている。現在、会長企業の社宅にお招きし、本日お集まりの幹部の皆様にもご参加いただく方向で調整を進めているところである。なお、各副会長にはすでに9月11日の予定についてご案内済であるが、今後も中国経済連合会側と連携しながら詳細を詰め、日程等が確定次第、改めて正式にご案内申し上げる所存である。

以上。